



社会福祉法人恩賜財団済生会和歌山病院 登録レジメン



◆食道がん

更新日：2026/1/1

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日	投与間隔	21	催吐リスク	軽度
レジメン名 Docetaxel単独療法 ドセタキセル	70mg/m ²	点滴静注	day1	投与間隔	21	催吐リスク	軽度
備考							
レジメン名 FP(800/80)+Nivolumab(240mg/body)併用療法 ニボルマブ シスプラチン 5-フルオロウラシル	240mg/body 80mg/m ² 800mg/m ²	点滴静注 点滴静注 持続静注	day1, 15 day1 day1-5	投与間隔	28	催吐リスク	高度
備考 6クールまで。FP療法完遂後、Nivoでmaintenance継続。							
レジメン名 FP(800/80)+Nivolumab(480mg/body)併用療法 シスプラチン ニボルマブ 5-フルオロウラシル	80mg/m ² 480mg/body 800mg/m ²	点滴静注 点滴静注 持続静注	day1 day1 day1-5	投与間隔	28	催吐リスク	高度
備考 6クールまで。FP療法完遂後、Nivoでmaintenance継続。							
レジメン名 FP(800/80)+Pembrolizumab(200mg/body)併用療法 ペムブロリズマブ シスプラチン 5-フルオロウラシル	200mg/body 80mg/m ² 800mg/m ²	点滴静注 点滴静注 持続静注	day1 day1 day1-5	投与間隔	21	催吐リスク	高度
備考 6クールまで。FP療法完遂後、Pemでmaintenance継続。							
レジメン名 FP(800/80)療法 シスプラチン 5-フルオロウラシル	80mg/m ² 800mg/m ²	点滴静注 持続静注	day1 day1-5	投与間隔	28	催吐リスク	高度
備考 6クールまで。							
レジメン名 Ipilimumab+Nivolumab併用療法 ニボルマブ イピリムマブ	360mg/body 1mg/kg	点滴静注 点滴静注	day1, 15, 22 day1	投与間隔	42	催吐リスク	最小度
備考							
レジメン名 Nivolumab療法 ニボルマブ	240mg/body	点滴静注	day1	投与間隔	14	催吐リスク	最小度
備考							
レジメン名 Pembrolizumab療法 ペムブロリズマブ	200mg/body	点滴静注	day1	投与間隔	14	催吐リスク	最小度
備考							
レジメン名 wPAC療法 パクリタキセル	100mg/m ²		day1, 8, 15, 22, 29, 36	投与間隔	49	催吐リスク	軽度
備考							